

文化庁芸術祭新人賞受賞記念

# 若林かをり

## フルーティッシモ! plus

2019.2.1 (金)

19:00開演(18:30開場)

息  
づ  
く  
静  
寂

KAORI WAKABAYASHI "FLUTISSIMO!" PLUS

若林かをり [フルート]

有馬純寿 [エレクトロニクス]

西川竜太 [指揮]

ヴォクスマーナ

[コンテンポラリー・ヴォーカル・アンサンブル]

### PROGRAM

ペロティヌス / 祝福されたる子よ (1220頃) ~フルート版~

C.P.E.バッハ / ソナタイ短調 WQ132/H562 (1747)

~フルート独奏のための~

J.S.バッハ (シャリーノ編) / トッカータとフーガ ニ短調

BWV565 (1703-1707/1993)

~独奏フルートのための推敲推~

S.シャリーノ / フェニキアのイメージ

~増幅されたフルートのための~ (2000)

S.ライヒ / ヴァーモント・カウンターポイント

~フルートと多重録音されたフルートのための~ (1982)

L.ノーノ / 息づく静寂 ~バスフルート、合唱、

ライヴ・エレクトロニクスのための~ (1980-83) ※全曲版日本初演

## すみだトリフォニーホール 小ホール

JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分 / 東京スカイツリータウン®より徒歩20分

[全席指定] ¥3,000

※すみだ区割 ¥2,400 / すみだ学割 ¥1,000 (電話・店頭のみ取扱)

チケットメンバーズ先行: 2018年9月19日(水) 発売


一般: 2018年9月22日(土) 発売

■お申込み・お問合せ

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

トリフォニーホールチケットオンライン [www.triphony.com](http://www.triphony.com)

※オンライン購入にはトリフォニーホール・チケットメンバーズ  
(無料)へのご登録が必要です

 @TriphonyHall

 [facebook.com/SumidaTriphonyHall](https://www.facebook.com/SumidaTriphonyHall)

白石美雪（音楽評論）

織細に作りこまれた音響空間  
耳が鋭敏になっていく感覚

かすれ、軋み、つんざく音……モーツァルトの音楽なら雑味になってしまう響きがこれほど味わい深いとは！ 織細に作りこまれた音響空間は顕微鏡でのぞく小宇宙のようだ。劇的なクライマックスはなくとも、秘めやかな無声音と瞬時の鋭い吹きこみは尺八のごとく峻厳。リサイタル・シリーズ『フルティッシモ!』で、若林かをりをさんがサルヴァトーレ・シャリーノのフルート独奏曲に挑んだ第4回、第5回の印象である。

『フルティッシモ!』は2015年から17年まで、年2回のペースで開かれてきた。会場は初台のオペラシティにある小さな近江楽堂。武満徹、湯浅譲二、細川俊夫ら日本人の作品と、シャリーノ、プリアン・ファーニホウ、カイヤ・サーリアホなどヨーロッパ人の作品を取り混ぜつつ、5回のプログラムをすべてソロの曲目で構成した。フルート1本から広がる千変万化の音楽。毎回、おもしろい選曲で、いつも耳が鋭敏になっていく感覚だった。

すみだトリフォニーホールで開催される『フルティッシモ!plus』はその続編であり、番外編と言ってもいいだろう。前半に古い中世やバロックの曲目を組み合わせて、レパートリーの広がりを感じさせる。有名なJ.S.バッハのオルガン曲《トッカータとフーガニ短調》をシャリーノによる編曲で取り上げるのは楽しみ。若林さんの師、マリオ・カローリがかつてレコーディングした編曲版で、超絶技巧が凝らされている。後半は有馬純寿さんを迎えてエレクトロニクスを使う音楽を集めた。シャリーノの《フェニキアのイメージ》は『フルティッシモ!』でも2回演奏された若林さんお気に入りのレパートリー。スティヴ・ヴァイヒの《ヴァーモント・カウンターポイント》は自らの多重録音と共演する十重奏で、ハルスにのせて反復音型を重ねていく。ノリの良い音楽である。

若林さんは現代曲を吹くとき、よく精悍な表情をみせる。おそらく無意識のうちに挑戦者としての気概が現れるのだろう。今回、最大の聴きものは全曲版が日本初演となるルイジ・ノーノの《息づく静寂》。リルケの詩と古代ギリシャの「オルベウスの金板」に書かれた言葉を編集した歌詞による8声の合唱部分と、特殊奏法を交えたバスフルートの独奏部分が交互に演奏される。儂い生と実存、死者をめぐるテーマで、「静寂」をキーワードとするノーノの真骨頂。西川竜太さんが率いるヴォクスマーナとの共演で、若林さんの輝くまなざしと出会う体験となるだろう。



## 若林かをり [フルート]

Kaori Wakabayashi, flute

東京藝術大学卒業。ストラスブール音楽院、ルガーノ音楽院を修了。修了論文のテーマは「日本文化…時間と空間の総括概念である“間”が、ヨーロッパの現代音楽にもたらした影響について」。現代音楽演奏コンクール“競奏X”第2位。平成18年度平和堂財団芸術奨励賞受賞。平成27年度滋賀県文化奨励賞受賞。NHK-FM「名曲リサイタル」出演。平成29年度文化庁新進芸術家海外研修員としてフランスでの芸術祭に参加・公演を行う。無伴奏リサイタル「フルティッシモ!」の成果により第72回文化庁芸術祭賞(新人賞)受賞。現在、沖縄県立芸術大学助教。公式サイト

basarachaosmos.wixsite.com/kaoriwakabayashi



## 有馬純寿 [エレクトロニクス]

Sumihisa Arima, electronics

1965年生まれ。エレクトロニクスやコンピュータを用いた音響表現を中心に、現代音楽、即興演奏などジャンルを横断する活動を展開。これまでに数多くの演奏会で音響技術や演奏を手がけ高い評価を得ている。第63回芸術選奨文部科学大臣新人賞芸術振興部門受賞。2012年より現代音楽アンサンブル「東京現音計画」を開始、第1回公演が第13回佐治敬三賞を受賞。現在、帝塚山学院大学人間科学部准教授。京都市立芸術大学非常勤講師。

Photo: Hiroyuki Matsukage



## 西川竜太 [指揮] Ryuta Nishikawa, conductor

1972年生まれ。東京藝術大学在学中、声楽科有志と共に、1人1パート編成の声楽アンサンブル「ヴォクスマーナ」を創設し、指揮者に就任。クール・ゼフィール(男声)、空(くう/混声)、暁(女声)の指揮者。成蹊大学混声合唱団常任指揮者。都立総合芸術高校音楽科講師(合唱)。音楽の新しい時代の創造を目指し、作曲家と協力して170作品を初演。2012年第21回朝日現代音楽賞、2018年第30回ミュージック・ペンクラブ音楽賞(クラシック「現代音楽部門」)を受賞。

公式サイト ryutanishikawa.wixsite.com/ryutanishikawa

## ヴォクスマーナ [コンテンポラリー・ヴォーカル・アンサンブル] Vox humana, contemporary vocal ensemble

1996年、西川竜太の呼びかけにより、東京藝術大学声楽科有志で設立された、1人1パート編成の声楽アンサンブル。声による新しい音楽創造の可能性を探求し、年2回の定期演奏会を開催。2001年より、新たなレパートリーの創造と確立を目指して新作委嘱を続け、これまでに100作品を初演。ミュゼ川崎シンフォニーホール、Hakujuホールの主催演奏会、横浜みなとみらいホール主催「Just Composed 現代作曲家シリーズ」、日本作曲家協議会、日本現代音楽協会の主催演奏会などに出演。公式サイト vox-humana.wix.com/vox-humana

※関連イベント開催予定(詳細はホームページをご覧ください)

[全席指定] ¥3,000

※すみだ区割 ¥2,400 / すみだ学割 ¥1,000 (電話・店頭のみ取扱)

チケットメンバーズ先行: 2018年9月19日(水) 発売

一般: 2018年9月22日(土) 発売

■お申込み・お問合せ

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

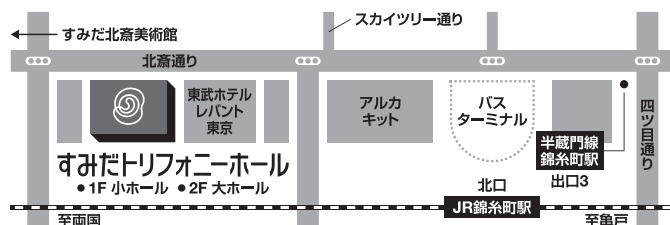
トリフォニーホールチケットオンライン www.triphony.com

※オンライン購入にはトリフォニーホールチケットメンバーズ(無料)へのご登録が必要で  
※都合により公演内容の一部が変更となる場合がございます。※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

主催・企画: すみだトリフォニーホール

助成: 公益財団法人 野村財団

NOMURA 野村財団



## すみだトリフォニーホール 小ホール

JR & 東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分 / 東京スカイツリータウン®より徒歩20分